令和 7 年度大阪府堺市保健医療協議会

精神医療部会 議事概要

日時:令和 7 年 12 月 24 日(水)午後 2 時から午後 3 時 50 分
開催場所:堺市役所本館 6 階　会議室
出席委員:5 名
（委員定数 9 名、定足数 5 名であるため有効に成立）
黒田委員、粟田委員、髙橋委員、永井委員、藤井委員

■**議題 1** 「第 8 次大阪府医療計画について」
資料に基づき、堺市健康福祉局健康部精神保健課から説明。
【資料 1-1】「第 8 次大阪府医療計画(堺市二次医療圏・精神疾患)について」
【資料 1-2-1】「都道府県連携拠点医療機関一覧」
【資料 1-2-2】「地域連携拠点医療機関一覧(堺市二次医療圏抜粋)」
【資料 1-3】「第 8 次大阪府医療計画・都道府県・地域連携拠点令和 6 年度実績報告(堺市二次医療圏抜粋)」

(意見等)
〇特になし。

(質問)
〇特になし。

■**議題 2** 精神疾患医療の取組状況について
資料に基づき、堺市健康福祉局健康部精神保健課、堺市健康福祉局健康部こころの健康センター、堺市健康福祉局長寿社会部長寿支援課、堺市健康福祉局障害福祉部障害施策推進課から説明。
【資料 2-1】「依存症対策の取組状況について(令和 7 年度事業実績等)」
【資料 2-2】「自殺対策の取組状況について(令和 7 年度事業実績等)」
【資料 2-3】「認知症施策の取組状況について(令和 6 年度事業実績等)」
【資料 2-4】「地域移行等の取組状況について(令和 6 年度事業実績等)」
【参考資料 1】長寿支援課(資料 2-4 関連):令和 5 年度　精神科退院患者調査結果[堺市版]
【参考資料 2】障害施策推進課(資料 2-4 関連):令和 6 年度　精神科在院患者調査結果[堺市版]

（意見等）

〇小学生を含むこどもへの自殺対策も検討が必要。

〇学校だけではなく、子ども食堂等、地域でこどもを支える関係者への研修も重要。

〇ギャンブル依存は集団プログラムが有効であり専門機関との連携が必要。IR 完成を見据えてサポート体制を充実していただきたい。

〇抗体医薬の登場により神経内科、脳神経外科との連携が必要。

〇医療機関の役割・機能（拠点・フォロー）を市民に分かりやすく示す必要がある。

（質問）

〇自殺未遂者について、警察・救急隊・救急告示病院の連携方法や本人や家族からの支援希望、同意はどのように取るのか。

〇自死遺族支援の案内はどうしているか。精神科病院から相談を案内してもいいか。

（堺市の回答）

〇年度当初に警察署に訪問し周知している。救急隊や救急告示病院には研修の案内などを通じて連携の強化を図っている。接触された警察などからリーフレットによる事業案内を行い、本人・家族の同意を得た上で情報提供を受けている。救急隊では同意書取得の場合あり。警察では口頭での同意。

〇専用リーフレットを区役所等に配架しており、精神科医療機関等から相談案内いただくことも可能。

■議題 3 高齢者のメンタルヘルスについて（大阪府・堺市の現状、医療連携における好事例や課題共有）

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部精神保健課から説明。

【資料 3】「高齢者のメンタルヘルスについて」（大阪府・堺市の現状、医療連携における好事例や課題共有）

（意見等）

〇精神医療と身体医療の分断、診療報酬の低さが課題。精神科と身体科が連携できるモデル的取り組みを堺市には率先してやってほしい。

〇精神科病院の地域貢献を評価する仕組み（地域医療支援病院等）を精神科医療にも導入するよう、堺市から府へ働きかけいただきたい。

（質問）

〇アンケート結果に対し、今後どのように解決、進めていくのか。

（堺市の回答）

〇本会議も含め、関係機関と検討し、できる範囲で前進する努力はしたい。

■議題 4　その他

案件なし。